国会事項

衆議院

質問書提出

十一月十日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

埼玉高速鉄道線の延伸に関する質問主意書（三角創太提出）

夜行列車の振興に関する質問主意書（八幡愛提出）

創作者主義の理念に基づく著作者の権利保護の在り方に関する質問主意書（八幡愛提出）

ＡＩを自然言語で律することの限界に関する質問主意書（八幡愛提出）

質問書転送

十一月十日次の質問主意書を内閣に転送した。

ＰＦＡＳ（有機フッ素化合物）評価書及び対策に関する質問主意書

揮発油税等の暫定税率廃止後における沖縄県の軽減措置に関する質問主意書

朝鮮国連軍の日本国内の基地使用に関する質問主意書

生活保護受給世帯及び低所得世帯へのエアコン設置推進等に関する質問主意書

訪問介護事業所への支援等に関する質問主意書

農業簿記の制度的支援に関する質問主意書

首相官邸の人事構成における民間人材の比率及び利益相反防止策に関する質問主意書

病院と診療所の支援等に関する質問主意書

持続可能な保護司制度の確立に関する質問主意書

公益通報者保護法に関する質問主意書

「次世代の動力」の自衛隊潜水艦への活用に関する質問主意書

参議院

質問主意書転送

十一月十日次の質問主意書を内閣に転送した。

ジェノサイドの罪の慣習国際法化に関する質問主意書（伊勢崎賢治提出）（第二八号）

アジア開発銀行（ＡＤＢ）の原発支援への方針転換に関する質問主意書（伊勢崎賢治提出）（第二九号）

人事異動

内閣

（外務省経済局国際貿易課長）

外務事務官　佐藤　大輔

内閣事務官（内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付））に併任する

（外務省大臣官房）外務事務官　松原　一樹

内閣事務官（内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付））の併任を解除する（以上十一月十日）

国家公安委員会

（警察庁警備局警備運用部長）

警視監　今村　剛

神奈川県警察本部長を命ずる（十月二十三日）

警察庁

（内閣官房内閣衛星情報センター次長）内閣事務官　安田　浩己

警視監に任命する

警察庁長官官房付を命ずる

（警察庁長官官房付）警視監　安田　浩己

辞職を承認する

（警察庁長官官房審議官（警備局担当））同　石川　泰三

警察庁警備局警備運用部長を命ずる

（警察庁長官官房付）同　鈴木　敏夫

警察庁長官官房審議官（警備局担当）を命ずる

（神奈川県警察本部長）同　和田　薫

警察庁長官官房付を命ずる

（警察庁長官官房付）同　和田　薫

内閣官房に出向させる（以上十月二十三日）

法務省

（東京地方検察庁立川支部長）

検事　加藤　雄三

新潟地方検察庁検事正に配置換する

（最高検察庁検事）同　小嶋　英夫

東京地方検察庁検事に配置換する

東京地方検察庁立川支部勤務を命ずる

東京地方検察庁立川支部長を命ずる

（新潟地方検察庁検事正）同　堀内　伸浩

辞職を承認する（以上十月三十一日）

官庁報告

官庁事項

登録海技免状更新講習実施機関の登録事項の変更に関する公示

船舶職員及び小型船舶操縦者法（昭和二十六年法律第百四十九号）第十七条の十七において準用する同法第十七条の五の規定に基づき、次の登録海技免状更新講習実施機関より登録事項の変更の届出があったので、同法第十七条の十七において準用する同法第十七条の十五第二号の規定に基づき、次のとおり公示する。

令和七年十一月十二日　国土交通大臣　金子　恭之

一　登録海技免状更新講習実施機関の名称　株式会社　日本海洋資格センター

二　登録海技免状更新講習事務を行う事務所の名称

（変更前）株式会社　日本海洋資格センター　本社　福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目十一番五号　アサコ博多ビル７階

株式会社　日本海洋資格センター　長崎事務所　長崎県長崎市中町一番二十五号　ＭＪ中町ビル二階

株式会社　日本海洋資格センター　九州海技学院　熊本県宇城市三角町三角浦千百九十三番地

株式会社　日本海洋資格センター　中国事務所　広島県広島市西区観音新町四丁目十四番六号　広島観音マリーナ内

株式会社　日本海洋資格センター　沖縄事務所　沖縄県那覇市港町二丁目十六番一号　琉球新報開発ビル六階

株式会社　日本海洋資格センター　関西事務所　兵庫県西宮市西宮浜一丁目三十一番地　西宮浜産業交流会館四階

（変更後）株式会社　日本海洋資格センター　本社　福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目十一番五号　アサコ博多ビル７階

株式会社　日本海洋資格センター　長崎事務所　長崎県長崎市中町一番二十五号　ＭＪ中町ビル二階

株式会社　日本海洋資格センター　九州海技学院　熊本県宇城市三角町三角浦千百九十三番地

皇室事項

行幸

天皇陛下は、十一月六日午後二時四十九分御出門、幕張メッセ国際会議場において開催された二〇二五年フォトニクス・電磁波工学研究に関するシンポジウム開会式に御臨席のため、千葉県千葉市へ行幸、同六時三十分還幸になった。

行幸啓

天皇皇后両陛下は、三重県において開催された第四十四回全国豊かな海づくり大会に御臨席、併せて地方事情を御視察のため、十一月八日午前九時五十分御出門、同県へ行幸啓、同月九日午後九時五十三分還幸啓になった。